

令和5(2023)年度栃木県普及指導活動外部評価結果

1. 評価

事務所名	那須農業振興事務所			
評価対象事例名	水田等を活用した自給飼料の生産と利用の拡大推進 (構築連携強化に向けて、畜産農家が求める稲WCS専用品種の拡大)			
項目	視 点	評 価		
		A	B	C
取組の背景・ねらい	①現状や問題についての分析は十分か	1	5	0
	②問題点に対し、適切な課題が設定できているか	3	3	0
	③施策に合わせた目標を設定しているか	3	3	0
活動対象・活動の内容	④活動対象の選定は適切か	4	2	0
	⑤課題や活動対象に対し、活動方法は適切か	2	4	0
	⑥市町・JA等関係機関や試験研究機関との連携は図られているか	4	2	0
	⑦活動は計画的かつ効率的に実施されているか	3	3	0
	⑧農業者との信頼関係を築き、普及活動を行っているか	5	1	0
活動の成果・今後の対応策	⑨実績に対する要因分析がされているか	2	4	0
	⑩残された課題について検討されているか	0	6	0

(1) 評価項目は、各項目の視点に基づき評価する。

(2) 評価基準は、消費者視点も踏まえた上で、以下の3段階とする。

A: 良好である B: 普通である C: 不良である

(3) 評価における数値は、評価対象事例の各項目に対して、A～Cを評価した外部評価委員数を表している。

2. 評価委員の意見

○専用品種普及の課題が種苗コストであることから、課題解決に向けた対応の検討をお願いしたい。

○糖度が高く、嗜好性も良い専用品種は、飼料高の中で酪農家の需要が増加すると思われることから、引き続き推進をお願いしたい。

○WCSへの切替は良い取組と考えるので、種子の確保や価格にも着目した取組推進を期待する。また、直播栽培は専用機械が必要なことから、経営の視点も踏まえた指導をお願いしたい。

○輸入飼料価格が高止まりが続く中、畜産農家にとってWCSは比較的安価で安全な国産飼料であり、また、堆肥を水田に還元し活用できるという面からも環境に優しい資源循環と考える。今後とも飼料コストの削減と農村環境の存続に寄与することを期待する。

○WCSの活用促進は飼料高騰の中で注目される取組であり、着眼点が優れている。普及に向けた課題分析と、課題を踏まえた具体策をさらに検討願いたい。

○飼料の国内生産は喫緊の課題であり、本事例のような取組が普及することを期待する。